

梅毒の感染が拡大しています

梅毒の感染が全国で拡大しています。感染症法が施行された1999年以来初めての10月時点での報告数が10000例を上回っています。（2021年同時期では6031例）松山市でも梅毒感染者が前年度と比較しても増加しており、梅毒の感染リスクが高まっています。

梅毒とは

- 梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主にセックスなどの性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染します。また、一度治っても再び感染することがあります。

梅毒が拡大しています

- 男性20代～50代、女性は20代が突出して患者さんが増えています。
- 梅毒に感染すると、性器や口の中に小豆から指先くらいのしこりができたり、痛み、かゆみのない発疹が手の平や体中に広がることがあります。また、これらの症状が消えても感染力が残っているのが特徴です。
- 治療しないまま放置していると、数年から数十年の間に心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死にいたることもあります。
- 妊娠中の梅毒感染は特に危険です。妊娠している人が梅毒に感染すると、母親だけでなく胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産になったり、生まれてくるこどもの神経や骨などに異常をきたすことがあります。生まれたときに症状がなくても、遅れて症状が出る場合があります。



予防と検査、治療

- コンドームの適切な使用により性感染症のリスクを減らすことができます。
- 症状のある時や、不安な時は、あなたと大切なパートナーを守るためにも、**早めに検査を受けましょう。**

* 松山市保健所は、**HIV抗体検査（エイズ検査）に合わせて梅毒の検査を無料匿名**でおこなっています。事前予約制（結果は1週間後）で日程は決まっています。

詳しくは、[【松山市HP：エイズ相談（HIV・梅毒・肝炎ウイルス検査）】](#)をご参照ください。

* 愛媛県の各保健所では、**梅毒に不安・ご相談のある方に、電話相談・無料匿名での血液検査を実施**しています。検査は予約制で、結果は当日分かります。詳細は愛媛県のHPをご確認ください。

- パートナーも感染している可能性があります。感染が判明した場合はパートナーも検査を受けましょう。
- 梅毒は、早期に治療すれば注射薬や内服薬で治すことができます。